

# ハンター・バイデンの警告者が、死の脅迫のうわさの中で 「消える」

「地獄からのパソコン」スキャンダルを中心だったコンピューター修繕屋が  
行方不明

NeonNettle

November 26, 2020



ハンター・バイデンの警告者 John Paul Mac Isaac が行方不明と噂される

ハンター・バイデンの「地獄からのラップトップ」と言われるハード・ドライブをリークした、コンピューター修繕屋が、「死の脅迫」を受けている中で、「消えた」と言われる。

ジョン・ポール・マック・アイザックは、民主党の大統領候補ジョー・バイデンの息子、ハンターのものであるラップトップをリークしたとき、大きな新聞種となった。そこには、きわどい映像、ビデオ、その他のファイルが含まれている。

このハード・ドライブには、バイデン家族の外国ビジネス取引に関わる、深刻な国際的犯罪活動を暴露する、ハンターのEメールも、含まれていると言われる。

アイザックは今、デラウェア、ウィルミントンの、コンピューター修繕ショップを謎のように閉鎖し、命の危険を感じていると言われる。

父バイデンは、こんなうわさは、「私と私の家族を中傷しようとする八つ当たりのキャンペーンだ」と言った。

しかし、前副大統領は、このラップトップが彼の息子のものかどうか、確認することは拒否した。



デラウェア・ニュース・ジャーナルによれば、アイザックの店の窓には今、閉店の看板がかかっている。

彼の弁護士 Brian Della Rocca は、彼のクライアントは、何度か死の脅迫を受けた後で閉店したのだと、代理人に語った。

彼はマック・アイザックの居場所については、このときには語らなかったが、ある隣人がアイザックは町を離れたと話した。

10月に、アイザックは、ハード・ドライブの内容のコピーを取っているが、それは「ジョー・バイデンのために働く者たちに殺されるのを恐れるからで、それを持つのは保護安全のためだ」と言った。

デラ・ロッカ弁護士は、彼のクライアントは、このラップトップに関わるどんな訴訟にも調査にも、巻き込まれることはないだろうと、代理人に言った。

代理人は、デラ・ロッカの話として、「彼のオフィスは、最近の数週の間、ウィルミントンの FBI エージェントや、デラウェアの米合衆国司法次官 Leslie Wolf と話し会ったが、その会話の性質については言わなかった」と言った。

「私は、連邦警察と接触しているのは確かだ」と彼は代理人に話した。

デラウェアの米司法局も、FBI も、それについてのコメントは拒否した、と The Blaze は言っている。



ラップトップのEメールは、バイデン家族の腐敗を暴露していると言われる

10月に、ニューヨーク・ポストの報じたところでは、マック・アイザックは、コンピューターの修繕を依頼されたが、そこからは、いろんな種類の、悪事に関わる、そして犯罪になる可能性のある、Eメールと写真が現れ、それは、前副大統領と、Burisma社（天然ガス）トップ重役との間に、秘密の会合があったことを確認すると思われる。

.....

### [Gretchain 訳注]

バイデン父子の犯罪や腐敗については、タッカー・カーソンとの対談で、かつてこの2人と密接な関係のあった人との、詳しい暴露証言からも知ることができる。「泥沼掃除」としてトランプ大統領の古くからの課題になっている「泥沼」の、代表者と言うべきものが、バイデン父子である。アメリカを乗っ取った「1パーセント」の者たちの悪の巣窟は、陽のささぬ泥沼であるほど快適であるらしい。トランプ政権はこれまでも何度か、ペドフィリア団体の大量検挙を行っているが、「バイデン政権」ではこれを、特権階級の権利として、「保護」するであろう。そうでないことを想定することは難しい。我が国で、バイデンを支持する方々は、よく覚えておいていただきたい。